

各 位

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門
安全研究センター長 中村 武彦

平成 29 年度安全研究センター報告会の開催について（御案内）

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

当センターの研究活動につきまして日頃より御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当センターでは、軽水炉利用に係るリスクの把握・定量化を図るため、燃料・炉から再処理・防災・環境に加えて、保障措置の範囲を含めた幅広い分野で安全研究を進めております。安全の継続的改善に着実に貢献するために常に質の高い研究を行うとともに、国立研究開発法人として研究成果の最大化を図る必要があり、その一助として、研究活動や成果を広く発信して専門家の皆様に御意見・御議論をいただくことにより、研究内容のさらなる充実を目指して参ります。本報告会は、私たちのそのような研究活動・成果を共有いただくための重要な機会ととらえております。

近年、安全研究の実施に際しては、原子力安全の視点でさまざまな現象を理解できる専門家の確保・育成が喫緊の課題であり、当センターでは、若手・中堅研究者の育成に向けた様々な取り組みを行っているところです。本報告会は、その様な当センターの人材マネジメント活動の一環として、彼ら若手・中堅研究者が企画するものです。

本年度は「地震を起因とする原子炉への影響と原子力防災に関する安全研究」と題するテーマで、設計上の想定を超える条件での原子炉施設の挙動や原子力防災に関する当センターの最新の研究成果を下記のとおり御紹介いたします。御多用な時期と存じますが、ぜひ御出席くださいますよう御案内申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 平成 29 年 11 月 29 日（水） 13:30～17:30
2. 開催場所 富士ソフト アキバプラザ 6 階セミナールーム 1
東京都千代田区神田練堀町 3
3. 内容 (1) 口頭発表 4 件
(2) ポスターセッション
4. 参加登録 同封の参加登録申込書により、平成 29 年 11 月 20 日(月)までに Fax 又は E-mail にてお申し込みください。
5. 連絡先 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究センター報告会事務局
担当： 岩永、金澤
Tel: 029-282-5978/5432, Fax: 029-282-5408
E-mail: NSRC2017FY@jaea.go.jp

以上

平成 29 年度 安全研究センター報告会 プログラム
—地震を起因とする原子炉への影響と原子力防災に関する安全研究—

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全研究・防災支援部門 安全研究センター

日時：平成 29 年 11 月 29 日（水） 13:30–17:30

会場：富士ソフト アキバプラザ 6 階 セミナールーム 1

13:30 開会挨拶

理事・部門長 三浦幸俊

13:40 安全研究センターにおける研究の概要

副センター長 与能本泰介

14:00 原子力施設建屋システムのクリフエッジの特定および回避技術に関する検討

構造健全性評価研究グループ 崔炳賢

14:30 設計上の想定を超える地震を考慮した経年配管の健全性評価

構造健全性評価研究グループ 山口義仁

15:00 コーヒーブレイク & ポスターセッション（セミナールーム 4, 5）

16:00 冷却材喪失事故時及び事故後の燃料被覆管の破損挙動に関する研究

燃料安全研究グループ 成川隆文

16:30 屋内退避による被ばく低減効果の評価

放射線安全・防災研究グループ 廣内淳

17:00 全体質疑

17:20 閉会挨拶

センター長 中村武彦

（司会 サイクル安全研究グループ 天野祐希）

平成 29 年度安全研究センター報告会
ポスターセッション 発表タイトル 一覧

原子炉安全研究ディビジョン

熱水力安全研究グループ

- 浮力流れの数値流体力学解析に対するメッシュ形状の影響

燃料安全研究グループ

- 二軸応力下における燃料被覆管変形挙動に関する研究
- Study on the behaviors of high-temperature oxidation and embrittlement of fuel cladding under air-steam conditions

材料・構造安全研究ディビジョン

構造健全性評価研究グループ

- 原子炉圧力容器の健全性評価手法の高度化

材料・水化学研究グループ

- ベイズ統計を用いた原子炉圧力容器鋼の中性子照射脆化の評価

リスク評価研究ディビジョン

シビアアクシデント評価研究グループ

- 合理的なシビアアクシデント評価を目指して

放射線安全・防災研究グループ

- 原子力防災対策のための放射線リスク評価の研究
- 屋内退避の被ばく低減効果に関する研究—家屋内の放射性物質の沈着分布調査—

燃料サイクル安全研究ディビジョン

サイクル安全研究グループ

- 再処理施設における蒸発乾固事故時の放射性物質移行挙動研究
—スプレーによる気体状ルテニウムの除去効果の確認—

臨界安全研究グループ

- 溶液沸騰を伴う臨界事故時の核分裂出力挙動評価手法の整備

保障措置分析化学研究グループ

- 顕微ラマンマッピングを用いた環境試料中ウラン微粒子に対する化学状態分析手法の検討

環境安全研究ディビジョン

廃棄物安全研究グループ

- 森林除染の空間線量率の低減効果の検討

環境影響評価研究グループ

- 燃料デブリ処分におけるガス発生とその移行に関する予察的評価

富士ソフト アキバプラザ (ホームページより抜粋)

<http://www.fsi.co.jp/akibaplaza/map.html>

秋葉原駅から富士ソフト アキバプラザまでのアクセス



住所

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町 3 富士ソフトアキバプラザ

TEL* : 050-3000-2741、FAX : 03-5209-5261

* 本報告会に関するお問い合わせは ご遠慮下さい。

秋葉原駅からの所要時間

- ・ JR 線 秋葉原駅 : 中央改札口より徒歩 2 分
- ・ つくばエクスプレス線 秋葉原駅 : A3 出口より徒歩 1 分
- ・ 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅 : 2 番出口より徒歩 3 分

参加登録申込書

平成29年度 安全研究センター報告会
平成29年11月29日(水) 富士ソフト アキバプラザ6階セミナールーム1

送付先： 安全研究センター報告会 事務局
担当： 岩永、金澤
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全研究センター
Tel: 029-282-5978/5432, Fax: 029-282-5408
E-mail: NSRC2017FY@jaea.go.jp

11月20日（月）までに本申込書をFaxまたはE-mailにて
上記宛にお送りください。

（下記の内容をE-mail本文に直接ご記入いただいても結構です。）

平成29年度安全研究センター報告会に参加します。

お名前： _____

ご所属

機関名称： _____

部署： _____

役職： _____

Tel： _____

Fax： _____

E-mail： _____